

「金融と福祉の連携について」 ～金融包摂モデル事業～



NIHONNO
HESONOO

令和7年8月
西脇市福祉部

★西脇市の現状 高齢者人口と認知症高齢者数の推移

年度	令和5年度 (2023年)	令和6年度 (2024年)	令和7年度 (2025年)
総人口 ※1	38,551人	37,978人	37,447人
高齢者人口 (65歳以上) ※1	13,179人	13,093人	13,006人
介護保険認定者数 ※2	2,763人	2,796人	2,868人
認知症高齢者数 ※2 (日常生活自立度Ⅱa以上)	1,548人	1,489人	1,585人
高齢者人口に占める 認知症高齢者の割合	11.75%	11.37%	12.19%
MCI(軽度認知障害) 高齢者数(推計) ※3	2,042人	2,029人	2,015人

※1 各年4月1日現在

※2 各年度3月末現在

※3 MCI(軽度認知障害)高齢者数:高齢者人口の15.5%で推計

資料:長寿福祉課

★認知症に対する西脇市の施策

- 認知症相談センターの開設(市内7か所)
- もの忘れ相談会の実施(年2回 7月・11月)
- 認知症ケアネットの普及
- 認知症高齢者等位置情報提供事業
- 認知症初期集中支援推進事業
- 認知症カフェの開催(市内7か所)
- 認知症家庭支援訪問介護事業



● あんしんはーとねっと事業

協力事業所(令和7年6月1日現在:138事業所)の連携による

- ①見守り機能 + ②発見機能(SOS利用事前登録)

【金融機関】

事業所名
(株)みなと銀行 西脇支店
(株)三井住友銀行 西脇支店
(株)但馬銀行 西脇支店
兵庫県信用組合 西脇支店
中兵庫信用金庫 西脇支店
近畿労働金庫 北播支店
みのり農業協同組合

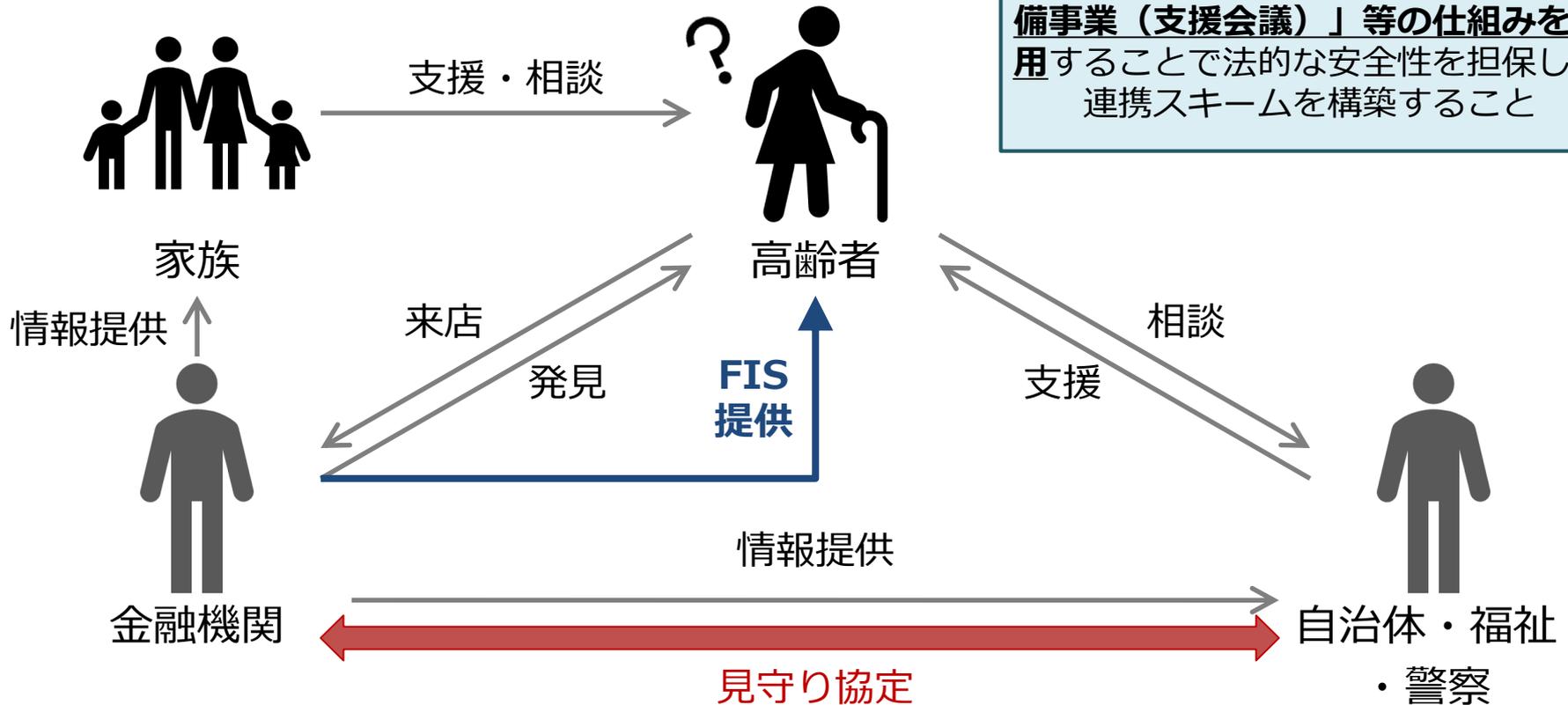
西脇市あんしんはーとねっと 事業協力者

私たちは、地域の高齢者の見守りに協力しています



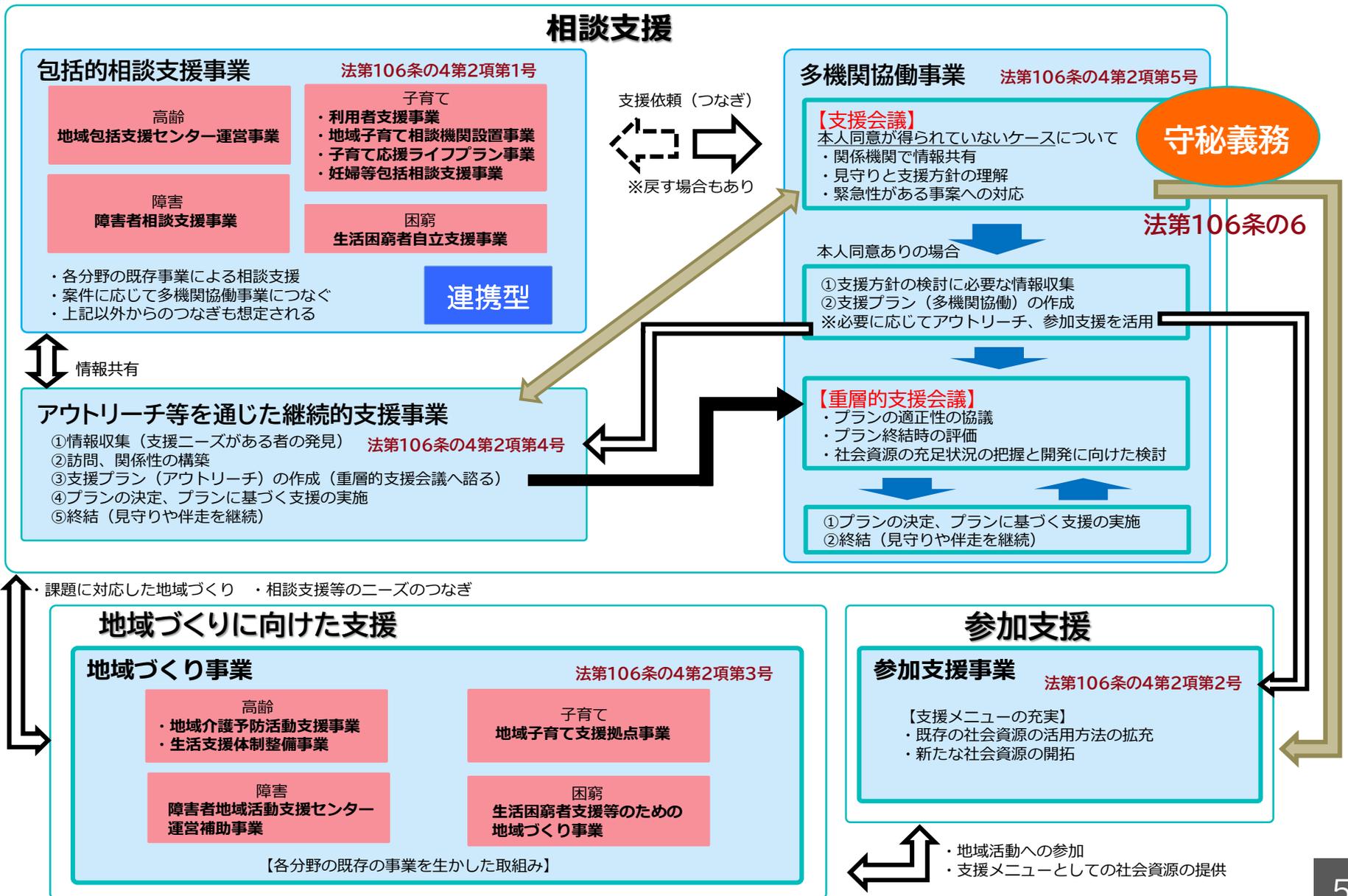
モデル事業の目指す姿とゴール

福祉×金融の目指す姿

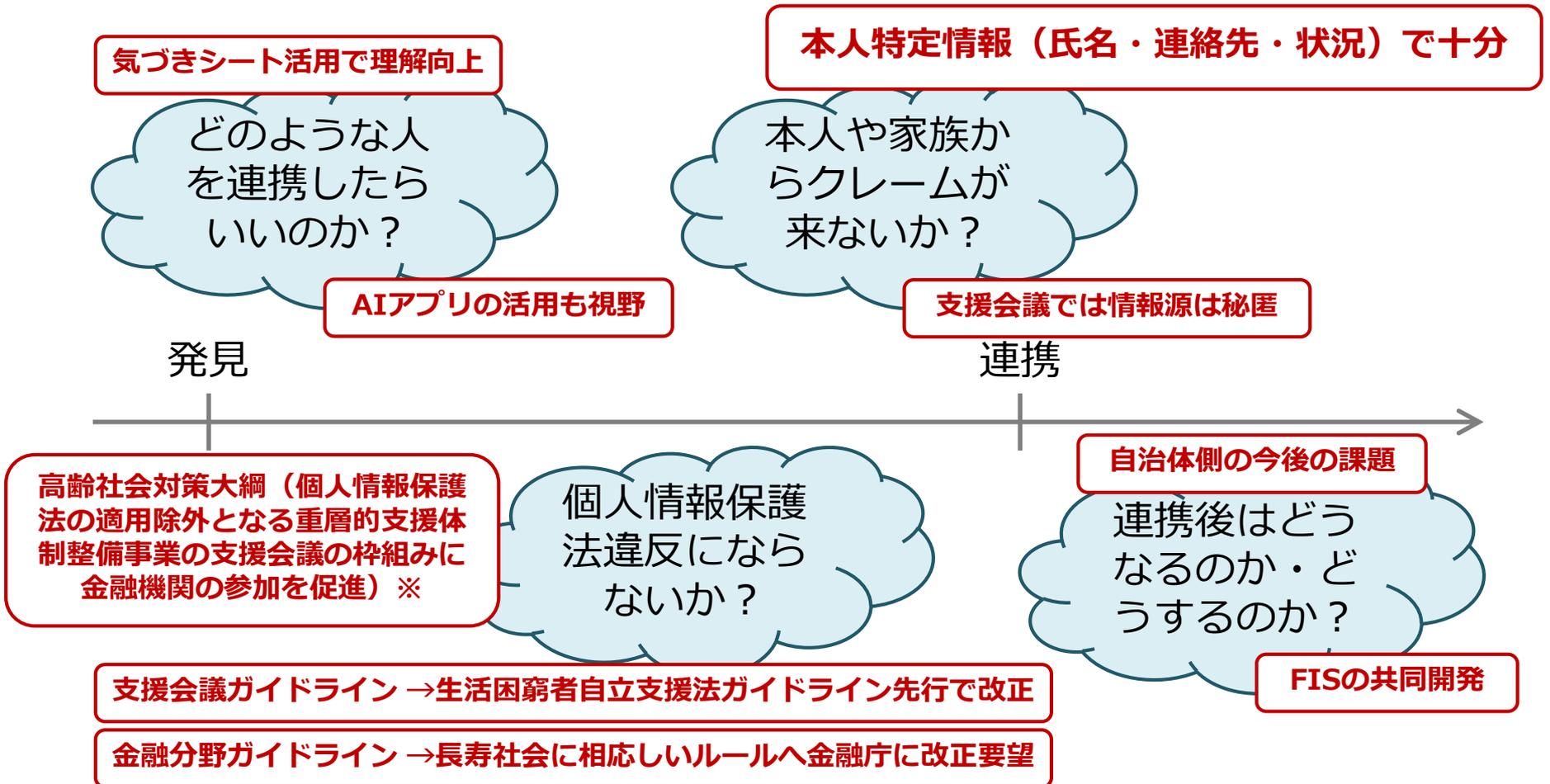


金融機関職員が認知機能低下が疑われる高齢顧客を発見し、自治体・福祉関係機関に対して顧客情報を提供するに際し、社会福祉法「**重層的支援体制整備事業（支援会議）**」等の仕組みを活用することで法的な安全性を担保した連携スキームを構築すること

社会包摂のための新たな金融サービス（FIS=Financial Inclusive Service）を共同開発



発見・連携における検討課題 金融機関のもやもやにどう応えるのか



※p31～32参照。 https://www8.cao.go.jp/kourei/measure/taikou/pdf/p_honbun_r06.pdf

★金融と福祉の連携強化に向けて

令和7年8月6日(水)

講演会・第1回金融と福祉の連携会議を同時開催！

講演会

金融と福祉
連携会議

内閣府が進めるSIP(戦略的イノベーション創造プログラム)の一つである金融包摂モデル事業に取り組む慶応義塾大学 駒村康平教授と尾川宏豪 特任講師による講演会

市内の金融機関・地域包括支援センター・障害者基幹相談支援センター・福祉関係事業所・西脇市社会福祉協議会・行政が、一堂に会して、顔の見える関係づくりから相互の連携へ！

